

連合福島 & 県労福協 2014 新春交歓会

「全勢力を傾注して課題を克服しよう！」

～新年の決意と一年の飛躍を誓い合う～



新年の挨拶をする影山道幸連合福島会長
これから始まる春季生活闘争においては、デフレから着実な脱却を図り、経済成長と所得向上を求めて行かなければならない。同時に運動の両輪である政策制度の実現も極めて重要であり、とりわけ東日本大震災からの復興は喫緊の課題である。険しく、多難

連合福島と県労働福祉協議会の2014年新春交歓会は、1月7日に福島市の福島グリーンパレスで開催され、県内各地から約320名が出席した。

新年に相応しく、迫力ある山木屋太鼓の演奏の後、主催者を代表して影山道幸連合福島会長は「2014年、労働運動の真価が問われる節目の1年がスタートした。貧困や格差を是正し、

安心社会を創り上げるため強靱に運動を進めて

行かなければなら

ない。これから始まる春季生活闘争においては、デフレから着実な脱却を図り、経済成長と所得向上を求めて行かなければならない。同時に運動の両輪である政策制度の実現も極めて重要であり、とりわけ東日本大震災からの復興は喫緊の課題である。険しく、多難



出席者の皆さん

な年となることが想定されるが、全勢力を傾注して課題を克服しよう。」と挨拶した。

また、多くの来賓の中から代表して、佐藤雄平福島県知事と民主党福島県連代表の増子輝彦参議院議員のお二人から、新年の決意が込められた祝辞を頂いた。



影山会長始め多くの来賓の方々による鏡開き

影山会長始め多くの来賓の方々が鏡開きを行い、今泉裕連合福島事務局長の乾杯の発声で、一年の飛躍を誓い合った後、歓談に入り親睦を深め合った。

恒例のお楽しみ福引抽選会では、ノンフライヤーや精米機、更には、ぼなりのペア宿泊券等が当たり、新年早々幸運に恵まれた方々から喜びの歓声が上がった。

最後に吉川毅一県労福協副会長の閉会の挨拶をもって、大盛況の中2014年新春交歓会は閉会となった。



見事お年玉賞に当選した全自交労連の大槻様